

伊勢湾ゼロメートル防災フォーラム

防災学習交流会を開催します

伊勢湾台風から60年が経過し、近年大規模な水害が多発しており、今まで以上に地域防災力の重要性が高まっています。そこで、水害の現場から学び、今後想定される災害に備え、復興する「地域の防災力」を高めるために防災学習交流会を開催します。

(日時) 令和2年1月19日(日) 13:00から16:30

(場所) 弥富市総合社会教育センター 公民館ホール

弥富市前ヶ須町野方 802 番地 20

(主催) 弥富防災・ゼロの会 (協力) 弥富市危機管理課

学習と交流で 防災の地域内の連携を

水害に学び未来を描く

ゼロメートル地帯

海津

津島

あま

愛西

蟹江

弥富

桑名

飛島

木曾岬

揖斐川

木曾川

防災の学習と交流で 防災の地域内の連携を 水害に学び未来を描く

1 伊勢湾ゼロメートル地帯の 歴史の現場から

濃尾平野は、木曾三川上流からの土砂供給と豊かな水源により水田開発に適し、低湿地の築堤による開発と、大雨・高潮災害による堤防破壊と災害後の復興を繰り返してきました。

明治以降、鉄道等交通網の発達と繊維工場や住宅など都市的な土地利用が進み、地下水の汲み上げて地盤沈下が急速に進んでいました。

伊勢湾ゼロメートル地帯を地学、地理、歴史の観点から学びます。

2 伊勢湾ゼロメートル地帯の 排水と治水の現場から

伊勢湾ゼロメートル地帯は、雨は自然に海に流れず、堤防と排水ポンプによって維持されています。

愛知県は排水と治水のために日光川の水閘門、排水ポンプ、堤防の整備を進めています。

また、地域の皆さんが自ら気象情報・水位情報を取得し、自ら避難行動をとることを促すような「みずから守るプログラム」も推進しています。

県民の命と財産を守るための愛知県の排水と治水活動についてについて報告を聞きます。

3 災害ボランティアと 社会福祉協議会の現場から

以前は災害も福祉も家族と地域のお互い様で助け合ってきましたが、隣に暮らしている人の顔も知らないほどに、地域のつながりが希薄になり、地域の福祉の組織化に社会福祉協議会などが大きな役割を果たしています。

昨年、水害に見舞われながら、日頃から築いていた福祉とボランティアのネットワークを生かして、地域の要として福祉と防災の役割を果たした関市社会福祉協議会の実践の事例に学びます。

4 伊勢湾ゼロメートル地帯の 自主防災会の現場から

災害の学習と地域の調査をとおして、地域特有の災害要因を認識し、防災に活用できる人材を掘り起こし、防災の要となる団体の活動に参加し、つながりを広げて、日常からつながりを強めましょう。

伊勢湾ゼロメートル地帯で、防災にかかわる団体等がつながるネットワークが必要です。

水と共に生まれ、水と共に暮らす「水の郷」である伊勢湾ゼロメートル地帯での自主防災の取り組みについて報告します。

地域内の連携で 地域の防災力を

地域の助け合いをどのように準備していったらいいのでしょうか。
自主防災会や自治会の役員、福祉、医療、NPO、建設業者、行政など
災害時の現場担当者、本部の連絡調整者の、横のつながりをつくりましょう。

(主催) 弥富防災・ゼロの会

(協力) 弥富市危機管理課

info@yatomi-bousai.info

ウェブサイト

弥富市防災情報共有サイト

<http://yatomi-bousai.info/>

Facebook

弥富市防災情報共有サイト



**参加費無料 事前申込不要ですが、スマホをお持ちの方は
資料印刷数を決めるため、参加申込していただければ幸いです**
イベント無料申込サービス **こくちーず pro**

<https://www.kokuchpro.com/event/230b44bbec334ee9c2400980fcf96780/>



QRコード